

## 「地域包括ケア研修会」開催のお知らせ

平素より本会会務運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、熊本県の回復期  
医科歯科連携委託事業の一環として今回企画した研修会は、まんのう町国保造田歯科診療所で  
活躍の歯科衛生士 丸岡三紗先生を講師にお招きしました。「連携とは、地域包括とは何か」を改  
めて考えさせられるご講演です。

### 記

日時…\* 平成31年3月6日(水) 午後7時半～9時

場所…\* 熊本県歯科医師会館 4Fホール(受講料無料)

演題…\* 「地域包括ケアに SuperDentist も SuperHygienist も  
要らない！」～すべての住民を守る、「地域連携」を目指して～

講師…\* 丸岡 三紗先生(香川県 まんのう町国民健康保険造田歯科診療所 歯科衛生士)

対象…\* 歯科医師、歯科衛生士、その他医療従事者

「歯磨きおばさんにはなりたくない！」

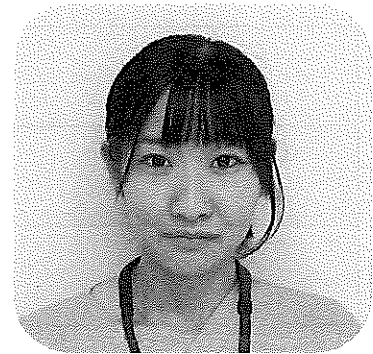
私は学生時代からずっと、そう思っていました。訪問に関わるなら、嚥下訓練や全身のリスク管理など、自分の力で何でもできる「スーパーハイジニスト」を目指さなければならぬ！と。しかし個人のスキル向上にこだわるあまり、いつしか本来目指すべきゴールがわからなくなっていました。

私が勤める歯科診療所があるのは、県内一の過疎地域です。歯科医師の呼びかけで「琴南の在宅医療介護の連絡会」を立ち上げたものの、そこに集まったのはちょっと変わった(?)人たち。なたを持って訪問するヘルパーさんや、一人暮らしの高齢者の布団を干す薬剤師、詐欺師を追い払う民間のお弁当屋さん。彼らに感化され、気づけた。地域では、「医療者が住民の生活に合わせる」ことが必要なのです。地域包括ケアとは、「すべての住民を地域の強いつながりで守ること」です。難しく考えることも、むやみに自分の専門性をアピールすることはありません。医療職がでしゃばると、なぜかうまくいかないのです。地域連携に必要なことは、皆が同じ気持ちを持ち、皆が同じ方向を向くこと。ただそれだけで良いのです。

歯科は普段、健康な住民と接しているという強みがあります。われわれはこれまで診療室で多くのフレイル高齢者に出会い、その原因は買い物困難や孤食など「社会性の低下」にあることに気付かされました。口腔機能のみに着目して解決を図ろうとしても、うまくいくはずがないのです。現在われわれの地域では、元気高齢者の「得意」を活かしながら、地域連携でその解決に挑んでいます。これからの人口減少社会を乗り切るためには、地域包括ケアを「多職種連携」だけでなく、「異業種連携」や「住民主体」などに発展させることが求められます。それらを牽引していくことが、歯科に求められる本来の役割なのかもしれません。

一緒に考えながら(そして時々笑いながら)、聞いていただければ幸いです。

まんのう町国民健康保険造田歯科診療所  
歯科衛生士 丸岡 三紗



※裏面のFAX申込書にて熊本県歯科医師会までお申し込みください。

# F A X 申 込 書

申込締切 3月 4日(月)

熊本県歯科医師会 金子 行

(FAX:096-343-0623)※番号はお間違えのない様をお願いいたします。

平成31年3月 6日開催 地域包括ケア研修会

ご勤務先 ( )

職 種	参加者氏名 (参加者全員のお名前をご記載ください)

※修了証は受講された後に交付いたします。

※駐車場は台数に限りがありますので、出来るだけ公共の交通機関をご利用ください。

※本会館の駐車場について「アクセスマップ」はこちら

